

# ゆうゆう甲賀

2021.1 第29号

発行者：ゆうゆう甲賀クラブ TEL：0748-62-6842 FAX：0748-62-6842  
〒528-0051 滋賀県甲賀市水口町北内貴307番地 老人福祉センター碧水荘内

**頌 春**

**仲間づくり**  
趣味サークル活動  
親睦会

**地域づくり**  
環境美化活動  
各種ボランティア活動  
子ども見守り活動

**健康づくり**  
健康学習への取り組みと実践  
各種スポーツ活動

**世代間交流**  
交流スポーツ大会

**研修会**  
各種研修会

**手作り作品展**  
作品募集

**「私のひとこと」募集**

**生涯学習**  
甲賀塾への受講  
出前講座等の活動



健康・友愛・奉仕 三つの柱を中心に活動



# 謹賀新年

ゆうゆう甲賀クラブ

会長 松田 勝征

会員の皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症防止のため諸活動等の自粛要請を受け計画どおりの事業推進が図れず残念な思いでありました。

そうした中で、各支部・単位クラブにおかれましては基本的な感染対策を徹底しつつそれぞれ地域の実態に応じ活動の推進を図っていただき感謝しております。しかし、超高齢化社会を迎えている今、地域のつながりや絆に最も貢献度が高く今後更にその必要性が増す老人クラブの数や会員数の減少が顕著に伺われ懸念される所であります。

このことは、社会環境の変化によって高齢者の生活や考え方が変わってきた等が考えられますが、最も身

近に感じられる現実的な要因は「次は役員がまわってくる、役員になるのはイヤだ」との思いが会員をやめたり、クラブ解散につながってきているのではないかととも思われます。

人に頼まれる内が花、深く考えすぎず前向きな気持ちで挑戦してみれば。すればさらに視野も広がるし、これまで積み上げてきた貴重な知識経験も大きな組織の中でいかせ、それが地域のためにもなるのだ。：。そうした気の持ち方がやり甲斐、生き甲斐にもつながっていくのではと思っております。

今年も皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 謹んで

### 新春のお慶びを申し上げます

令和三年元旦

順不同敬称略



副会長 田中 稔 (甲南支部会長)



副会長 兼 体育部長 奥村 和弘 (甲賀支部会長)



副会長 兼 交通安全奉仕部長 箭田 庄之助 (土山支部会長)



副会長 兼 広報・文化部長 雲林院 正昭 (信楽支部会長)



副会長 兼 女性部長 望月 勝代 (甲賀支部)

## 第59回県老人クラブ大会開催

本年度は、コロナウイルス感染症防止のため開催規模を縮小(130人)し、11月17日

滋賀県立長寿社会福祉センターで開催されました。

ゆうゆう甲賀クラブからは、会長のほか表彰受賞者、事務局の6名が参加しました。式典は、滋賀県老人クラ



ブ会長挨拶の後、滋賀県知事表彰・滋賀県老人クラブ会長表彰・全国老人クラブ連合会長表彰・活動賞伝達が行われ、ゆうゆう甲賀クラブより老人クラブ育成功労者表彰を澤幸雄氏(信楽)・北村邦久氏(甲南)。優良老人クラブ表彰を江田笑話会(信楽)が滋賀県老人クラブ会長表彰を受賞されました。

## ゆうゆう甲賀クラブ

### 令和2年度

### ゆうゆう甲賀クラブ会長表彰

6月17日に計画しておりました「ゆうゆう甲賀クラ

ブ大会・指導者研修会」において、会長表彰・会員加入増目標達成クラブへの感謝状贈呈を行う予定をしておりましたが、コロナウイルス感染症防止のため中止しましたので、各支部会長より伝達いただきました。

### 育成功労者

西川 敏男氏 (甲賀)

### 会員加入増目標達成

単位クラブへの感謝状

### 土山支部

山内南ゆうゆうクラブ

頓宮ゆうゆうクラブ

前野ゆうゆうクラブ

今宿さわやか会

### 甲賀支部

樂野ゆうゆう会

大久保ゆうゆうクラブ

拝坂ねんりんクラブ

鳥居野ゆうゆうクラブ

ゆうゆう高野(福寿会)

### 甲南支部

ニューポリス亀甲クラブ

### 信楽支部

牧日雲海

東部長寿会

畑深交会

柞原永照会

# ゆうゆう甲賀クラブ 支部だより

## 土山支部連合会

### 敬老の日さまさま

徳原ゆうゆうクラブ

会長 市井洋

例年9月に行われております令和2年度の自治会主催の敬老会行事、一同に会してのセレモニーや会食を伴う余興は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の見地から中止になりました。



でも記念のお祝い品が自治会より70歳以上の方に紅白饅頭と長寿が叶う地酒のプレゼント。ゆうゆう



うクラブからは、80歳以上の高齢者にフィナンシェのお菓子を、役員の方々が戸別に訪問し贈呈されました。

今年はこの様な形の敬老の日でしたが、コロナ禍が早急に終息し、皆が挙って元気なお姿で集える日が来ること祈念いたします。



## 鮎河に伝わる話

土山支部 福寿会

女性部長 三上智子

最近鮎河では、田畑の鳥獣害に悩まされている。そこで思い出したのが、三上六所神社にまつわる、日本昔話の様な伝説である。



その昔、御上神社ゆかりの三上三郎と言う勇敢な猟師がいた。犬二頭を連れ野洲川上流に來た所、川上より菜が流れて來た為、人家があるに違いないと、茫漠たる原野を分け入り鮎河村にたどり着いた。折しも、人を襲う

古狸に苦しんでいた村人が三郎に獣退治を願い、三郎が悉く退治した。

村人は三郎を敬慕し、後に三上神社を建立。時代は変わっても鳥獣に苦しむ鮎河に再び三上三郎は現れないものか。

### 我が家は小動物園

#### アライグマの捕獲は地域ぐるみで

上北部ゆうゆうクラブ

堀悦子

3年前蔵の板を破つて、アライグマが侵入、市に相談したところ捕獲檻を借用し貸与してくれました。

市の講習を受け設置したところ5月から8月頃には次々と捕獲出来ました。市では「特定外来生物（アライグマ、ハクビシン）の捕獲に1匹5千円の協力が区を通じて支給されます。

1匹でゆうゆうクラブの年会費が支払いできて楽しみです。捕獲したアライグマ、ハクビシンは

市が処分してくれまます。住宅や農作物に被害を及ぼす外来生物の駆除をゆうゆうクラブが地域ぐるみで行って地域奉仕を行うてはいかがでしょうか。檻には色々な小動物が入りますが逃がしてやりません。タヌキは後を振り向きゆつくりと去っていきます。イタチは一目散に飛び跳ねるように、アナグマは逃がして3日後、再度捕獲されたので川向こうに放してやりましたが再び捕獲されました。帰巢本能があるのでしょいか。



又、我が家の軒先には百年以上の甘柿の太木があります。まず一番乗りはサル軍団が親子で強奪します。落とした柿を夜にはタヌキの親子がたっぷり食べます。カラス、小鳥の順に訪れるのをカーテン越しに眺めていると、我が家は動物園のようです。

晴耕雨読の毎日ですが楽しい田舎暮らしです。



### 生き生き元気で!

猪鼻ゆうゆうクラブ

女性部長 中森明美

超高齢化社会と言われる今、平均寿命や健康寿命は年々延びています。

高齢になって、毎日を元気で生き生き過ごせること、それが一番幸せなことだと思っています。

その為には、健康を考えた家庭での毎日の食生

活が第一ではないでしょうか。

わが家では、夫が、出来る限り農業を使わない野菜づくりの勢を出しています。収穫した料理は苦手だと、全く手を出しません。

コロナが収束したら、ゆうゆうクラブで「おじいちゃんのお料理教室」を催してチャレンジしてほしいものです。「健康は最高の利得」をモットーに?



### 曇り時々晴れからの眺め

山中ゆうゆうクラブ

会長 太田昭生

海と砂浜は、きつても切れない光景。田舎と住民も深い深い繋がりの固まり。山と海も重要な恩恵関係の自然。年を老いても扶養家族でなく、いつまでも世帯主です。敬老の日は来てくれますが、殆んど注意喚起ばかりです。でも声を掛けてくれるだけでも嬉しいです。

高齢化率も右肩上がりの中、ゆうゆうクラブで次年度の役員交替が笑顔

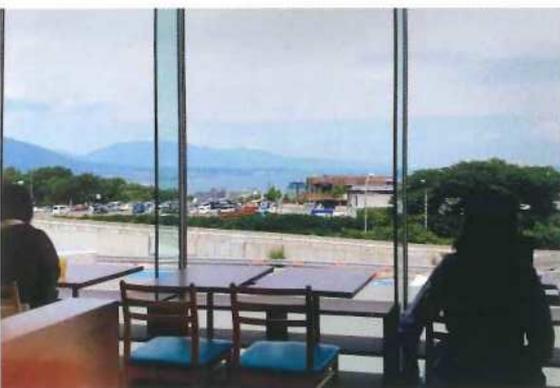
でと思っております。

雨が降っても、又、止みます。小さな地域でも義務と権利は平等の基、三方よし、四方八方よし、いずれもヨシ、と、成つていく様願ひ、我を見つめて:

### コロナ禍の新しい日常

土山支部 T・U

ようやく外出の自粛や休業要請が緩和され、久しぶりに家族で野暮用もありドライブに出かけました。道中、名神大津SA(下り)レストランの情景です。



ソーシャルディスタンスというか、お客様全員が同じ方向で1列に並び食事をされています。勿論琵琶湖や街の眺望をみ晴らす為ですが、他の4人掛対面テーブルも2人で同じ方向で座ります。

私達は後者で前列席の後姿ばかり見て、更に1人おきの間隔で何か寂しい何か味気ない食卓でした。

これが今の日常で、この新しい生活様式を定着させコロナ禍を乗り切りましょう。



# 甲賀支部連合会 作品展示会を開催

10月31日(土)から11月7日(土)までの期間で「かふか生涯学習館」にて作品展示会を開催しました。



今年は新型コロナウイルス感染拡大のため例年開催の「甲賀町文化祭」が中止となりました。

文化祭では各団体にスペースが割り当てられ児童をはじめ、介護施設等の団体、一般の各種の団体そして個人出展者等が展示を行います。

ゆうゆうの展示スペースは広く、会員の皆さんが作成された展示物(絵画、写真、書画、手芸、陶芸、編物、押し花、絵手紙、俳句作品等々)がブースいっぱい

いておりますが、今年はその行事すら、なくなってしまいました。さみしい限りでした。

コロナの感染も予想されたとおり夏場からは感染拡大も弱まってきました。8月に入って甲賀市の施設も感染予防対策を取って貸館も再開されましたので、8月の会長会、9月の文化部



「今年は全然活動しないので」との声も聞いていましたので、どれだけ作品が

集まるか心配でしたが様々な作品を提供いただき展示会を開く事が出来ました。



会場の飾り付けにあたっては、コロナ感染予防のため少人数で行い、観覧にあたってはマスク着用で、手指消毒、体調確認及び濃厚接触者の把握のための申告カードを記入して観覧いただき、これまでに経験したことのない対応を取ることに

なりましたが観覧いただいた方々のご協力を得て無事終了する事ができました。会員の方々がコロナ禍において、こつこつと作品を作成されている事をうかがい知ることができました。こじんまりとした展示会に

はなりましたが無事開催できて良かったと思っております。

11月に入り寒くなってきました地域また、大都市圏ではコロナ感染者数も増加している状況です。コロナ慣れもあるのか知れませんが早くこの状況が改善され何気ない日常が戻ることを期待したいと思います。



## 私の健康療法(コロナ禍 の中で生きがい求めて) 油日ゆうゆうクラブ

島田茂雄

今年はコロナ禍で、ことごとく(ふれあい)活動が中止になり残念でなりません。皆さんはどう過ごされていますか。

私の新しい生活は、朝夕の食事の前に血圧と体温測定して体調を確認、一日が始まる。

外の空気をいっぱい吸い野菜育てる。心のリラック

スにもつながる。ある日、友人から「年を越しても美味しいで」とカボチャ(甘龍)の苗を買った。長型ホクホクかぼちゃ、めっちゃ美味しい!しかも栄養満点で良かった。他にトマト、スイカ等いろいろ栽培している。いずれも成長を見るのが楽しみで癒される。孫も喜んで食べてくれるので、ほんま嬉しいです。無農薬で、雑草や落ち葉を堆肥にしている。若干の油粕、牛ふんは買ってくる。

ここで耳寄りな情報、お菓子に入っている石灰乾燥剤を廃棄せず、とっておき畑の土壌改良に使い土づくり。これも結構重宝している。他にも発見があり気持ち良い汗を流している。



# 十八年続く里山整備

## 大久保ゆうゆうクラブ

中島 教芳



かつては生活圏内であり、様々な活動がなされていた里山に目を向けようと、2002年、大久保里山再生委員会が設立されました。その時以来、大久保ゆうゆうクラブは、区の南に位置する「楽花園」と呼ばれる里山の整備を続けてきました。整備は、里山再生委員会をはじめ、大久保交友会、大久保ゆうゆうクラブがそれぞれの年次計画の中に繰り込

み、草刈りや道の整備などをしていきます。

当クラブは、毎年六月の初めに草刈りをしています。「楽花園」には、保育園跡地のグラウンドがあり、主に女性のメンバーが草引きをし、小高い山頂までの斜面の草刈りは、ベテランの男性が引き受けています。

いい汗を流した後は、里に戻って、お弁当で直会して、親睦を深めています。

今年は、例年と違い、コロナ感染症回避のため、飲食の直会は中止しましたが、ほとんどの行事ができなくなった中、六月に里山整備が無事できたことは幸いでした。



# 甲南町延寿会

## 本年度柑子愛柑クラブの活動状況について

### 柑子愛柑クラブ

塗矢 昭夫

現在までの当クラブの活動状況を報告いたします。

当クラブでは、コロナ対策のためとして総会や年2回の親睦研修旅行等会員が一堂に会する催しは全て中止いたしました。そのため会員相互の懇親・会食の機会が無くなりました。

もつばら神社境内や東海自然歩道等の草刈り、梅干作りのための梅もぎや紫蘇の葉摘みなど、野外作業などを中心した活動にならざるを得ませんでした。

このような状況下を踏まえまして、本年度特に工夫して行った事業を紹介いたします。一つ目は、展示のみとした菊花観賞会の開催であります。本事業は51回の長きにわたり継続してきた歴史ある事業です。従来は、会

員が一堂に会し会食をしながら菊花を愛でておりましたが、今年は開会時間を6時間程度として、来場者が分散して見る鑑賞会といたしました。



二つ目は、グラウンドゴルフ大会の開催であります。今年からは従来のやり方を改め、同好者で行う事業として、順位を決めず、賞品を出さないこととし、運動不足の解消という趣旨を全面に出して、会場を提供するという形で実施しました。



三つ目の事業は、当クラブができるコロナ対策として会員全員に日頃の感謝の意を込めたマスクの配布を行いました。

近頃のコロナ感染患者の増加に伴い、年度内においては、会員が一堂に会する事業は行うことが難しくなると思えます。

残された期間に会員相互の連携や意思疎通をどのようにして確保するのか留意していかねばと考えるしております。

## 「ビデオ鑑賞会+食事会」開催

ニューポリス区亀甲クラブ  
会長 中原 勝次

今年度は新型コロナウイルスの影響で色んな行事が中止となつてしまいましたが、甲賀市のコロナウイルスに関するリスクレベルが、9月1日に警戒レベル2に、10月21日にレベル1に緩和されましたので、「ビデオ鑑賞会+食事会」を開催しました。



ただ、コロナ禍はまだ収まっではないいため、市のガイドラインを順守した上で開催しました。

1. 入場時にはマスク着用し、①検温②手指消毒③体調をチェックし、作成した名簿に記録を残した。
2. 3密を避けるため、A地区とB地区を日時を分け、2日間で開催。
3. 会場は数か所「窓を開放」し換気に努め、食事時以外はマスク着用をお願いした。

4. 「食事会」は当然のことながら、アルコール抜きで、また大声での歓談は避けて頂くよう協力をお願いした。

ビデオは滋賀県平和祈念館から借用した、戦争体験者証言映像『戦争証言2019』を主に鑑賞した。食事会では『横山やすし・西川きよしの漫才』を流した。

今年度の新入会員の方も10名中7名が参加していただきました。今回は静かな食事会となりましたが、コロナ禍によるストレスが少しは発散できたものと思っています。



## 信楽支部 コロナに負けるな 小原小学校の子どもたち

中野白寿会



新型コロナウイルスの感染拡大により多くの地域・団体では長年続いてきた活動の中止や延期を余儀なくされており、中野白寿会でも地域活動の沈滞化、地域コミュニティの弱体化が心配されます。

そうした中、今年唯一の活動は、子供たちの登校を見守り子供たちを交通事故などの立ち番と声かけを行うス

クールガードの活動です。

午前7時30分、低学年の子供を先頭に小原小学校の通学団がやって来ます。

「おはようございます！」

子供たちの元気な声が返ってきます。今年は、学校閉鎖や、短くなった夏休みなど、子供たちの生活リズムも大変です。

車に気を付けて行きや、コロナに負けるなや、後姿を見送って今日の立番は終了です。

昔から「止まない雨は」ありません。「明けない夜も」ありません。ワクチンの開発など明るいニュースもあり、1日でも早くコロナの流行が収束し平和な日常生活に戻るよう願っております。

### コロナ禍の現実の中で

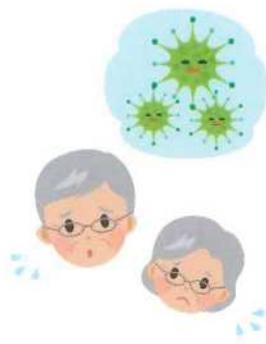
神山寿楽会 谷永泰嗣

今年は「コロナ」この単語を耳にしない、目にしない日はなくなりました。

コロナ抜きにして現実を語ることは不可能となって

しまいました。

年度の区分もなく、総会もなく書面表決となり、紙面で会長職を引き受けての悩みの現実があります。



過去と現実が分断され、未来が見えなくなりました。時間の使い方が変化し、新聞の1コマが目にとまりました。『人の話を聴く』という事は耳だけでなく全身で聞くものだと思う。「聞く」という時には耳が一つだけ。「聴く」という字には耳と目と心が入っている。十四の心があるという人もいます」とありました。

この日は秋たけなわの頃で、昔に愛用したオーディオをと思い立ったが、アンプが動かないのです。修理を頼むも古過ぎることでした。

ユーチューブで安価なミニアンプを見つけアマゾンの関連製品をさがすも、メカに弱い自分では大型スピーカーとの互換性が判りません。量販店で調べてみたが、これらのミニアンプは販売していないとのことでした。

何とかミニアンプで愛用したスピーカーを接続し、パソコンやスマホからの音楽（特にチェロやコントラバスの名曲）を楽しみコロナ禍を解消したいと思う今日この頃であります。



### 高齢者と交通安全

南部生粋会 辻昭

運転免許更新のため自動車教習所へ。今年で7回目になる。

記憶力や判断力、注意力に反応力、認知度それに運転コースでの講習を受けた。考えてみれば今まで随分車に助けられ、若いときとはかく時間に追われて走



り、ヒヤリとすることも。

今や道行く人や他車に迷惑をかけないように心して運転し、年若い物忘れも多く、緊張する時間も必要と考え「確認」を意識して運転している。

運転することが次の講習に行けることと願い、会の運営に少しでも役に立ちたく思っている。

### 久しぶりの

### 月例会開催

勅旨保良会 宇田 康雄

保良会では2ヶ月に1回

例会を開催し、会員親睦や高齢者における健康管理、交通事故防止等を話題とした講話や映画鑑賞、演奏会等幅広く催しを行っており、今年には新型コロナウイルスの影響により思う

ような行事ができなく、状況判断の上やつと10月に開催することができました。但し、コロナ対策のため会場では体温測定、マスク、消毒をし、3密防止のため机いすを消毒するとともに、席は間隔をあけ窓は開放して、対策を十分行い実施しました。



午前中は会館の清掃作業をし、その後、講話は信楽交番の巡查長より「特殊詐欺と交通事故について」お話を聞き、田舎においても最近高齢者に関わるいろいろな事件が発生していることを知り、

十分注意する必要を再認識しました。

午後からは落語をお楽しみ頂くことにしました。演目は「笑いは心のくすり」と題して、芸名：井筒屋磯七氏（近江八幡市）で薬剤師をされており、お年寄りの健康管理や認知症における対応などについてアドバイスしながら面白おかしく、笑わせて楽しい時間を過ごすことができました。

今回はコロナの影響もあり参加者が若干なかつたですが、今後も継続して実施の予定です。



### 編集後記

本年度は、当初から新型コロナウイルス感染拡大が始まり、緊急事態宣言が出されマスクの着用や手洗い・3密を避ける事など、感染症対策に努めるよう求められました。

年度当初に計画していた事業を次々と中止せざるを得ないこととなり、大変残念な年となりました。

こうした中で、「ゆうゆう甲賀」第29号の発行にあたり、貴重な原稿のをお寄せいただき、誠にありがとうございました。

次号は、楽しい活動が報告できますよう、1日も早く事態が終息することを願っています。

### 編集委員長

信楽支部 雲林院 正昭

### 編集委員

- 土山支部 市井 洋
- 甲賀支部 金 正和
- 甲南支部 木村 功
- 信楽支部 宇田 康雄

